

本格的な市場獲得型投資へ転換する 中国企業の対東南アジア進出 — 一時系列から見た中国対ASEAN投資の変化 —

苑志佳

立正大学経済学部 教授

問題提起

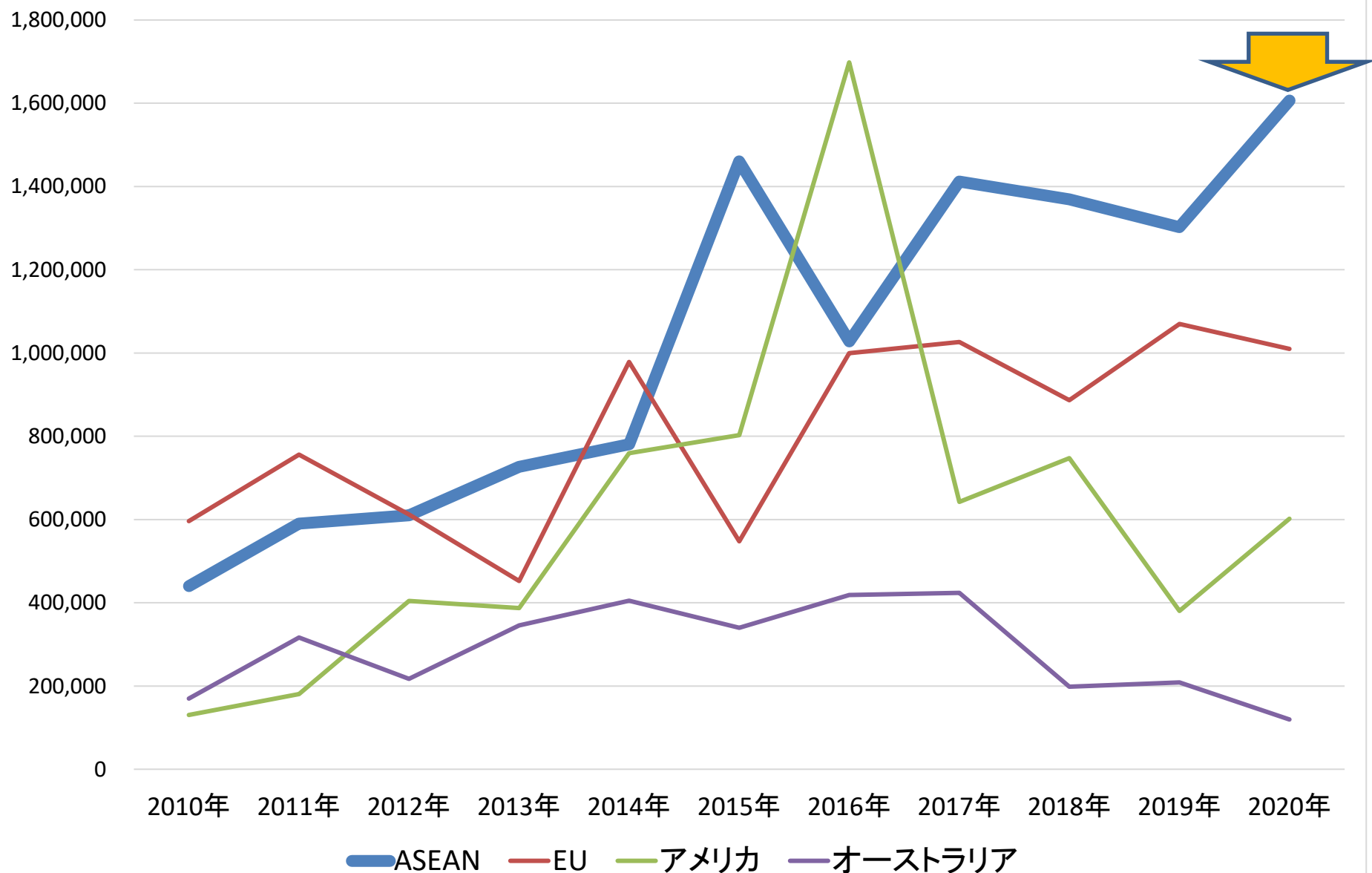
(1) 中国の対ASEAN直接投資は戦略的転換期を迎えている。その戦略的転換は、ASEAN現地市場にどのような影響を与えるか。

(2) ASEAN市場における従来の競争構図—日本企業の圧倒的な優位と韓国企業の猛追—は今後、どう変わるか。

1. 時系列からみた中国対 ASEAN直接投資の変化

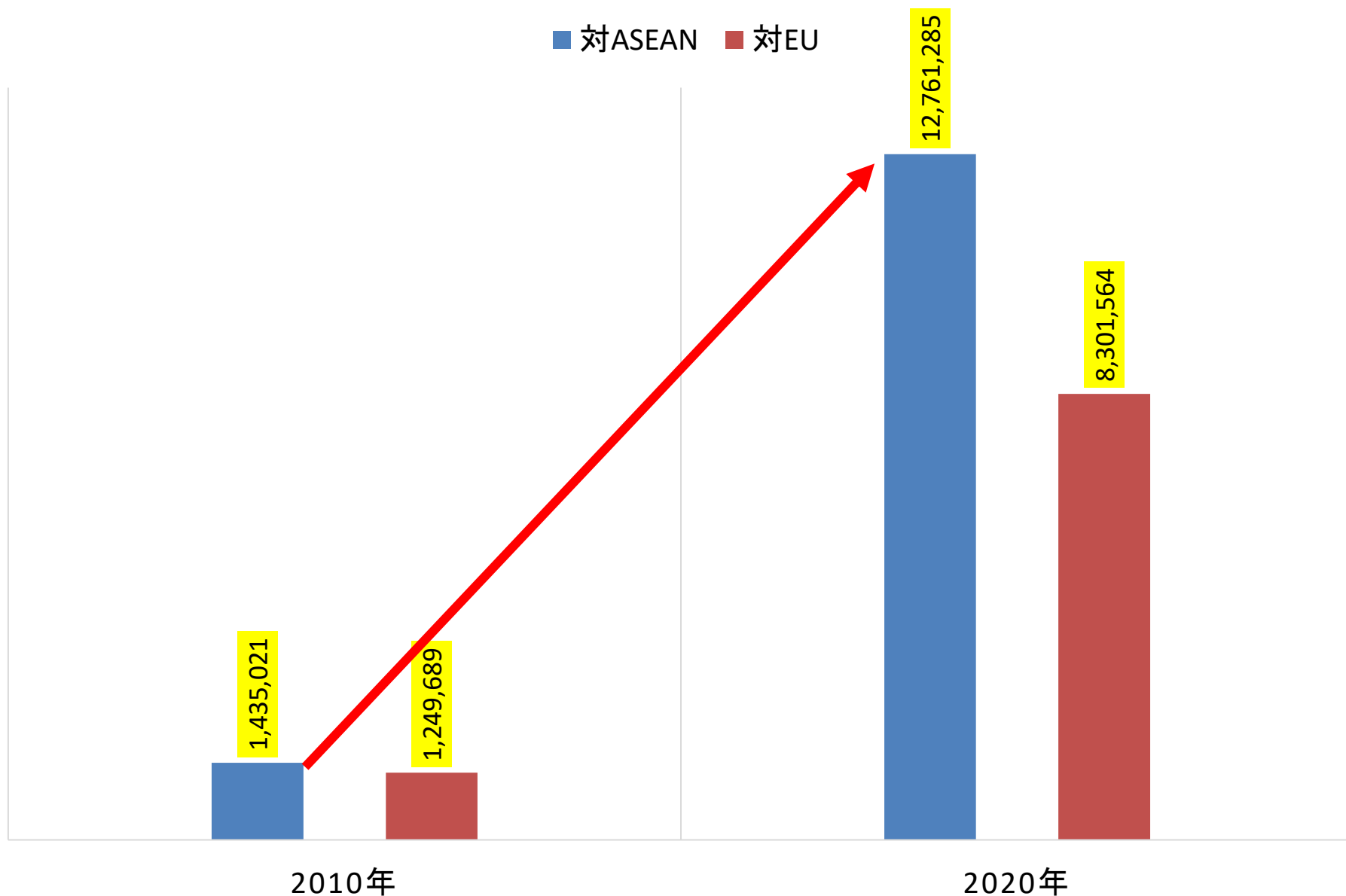
中国の対主要地域への直接投資の推移

出所:『中国対外直接投資統計公報』2010~2020年版商務部など。(フロー額、万ドル)



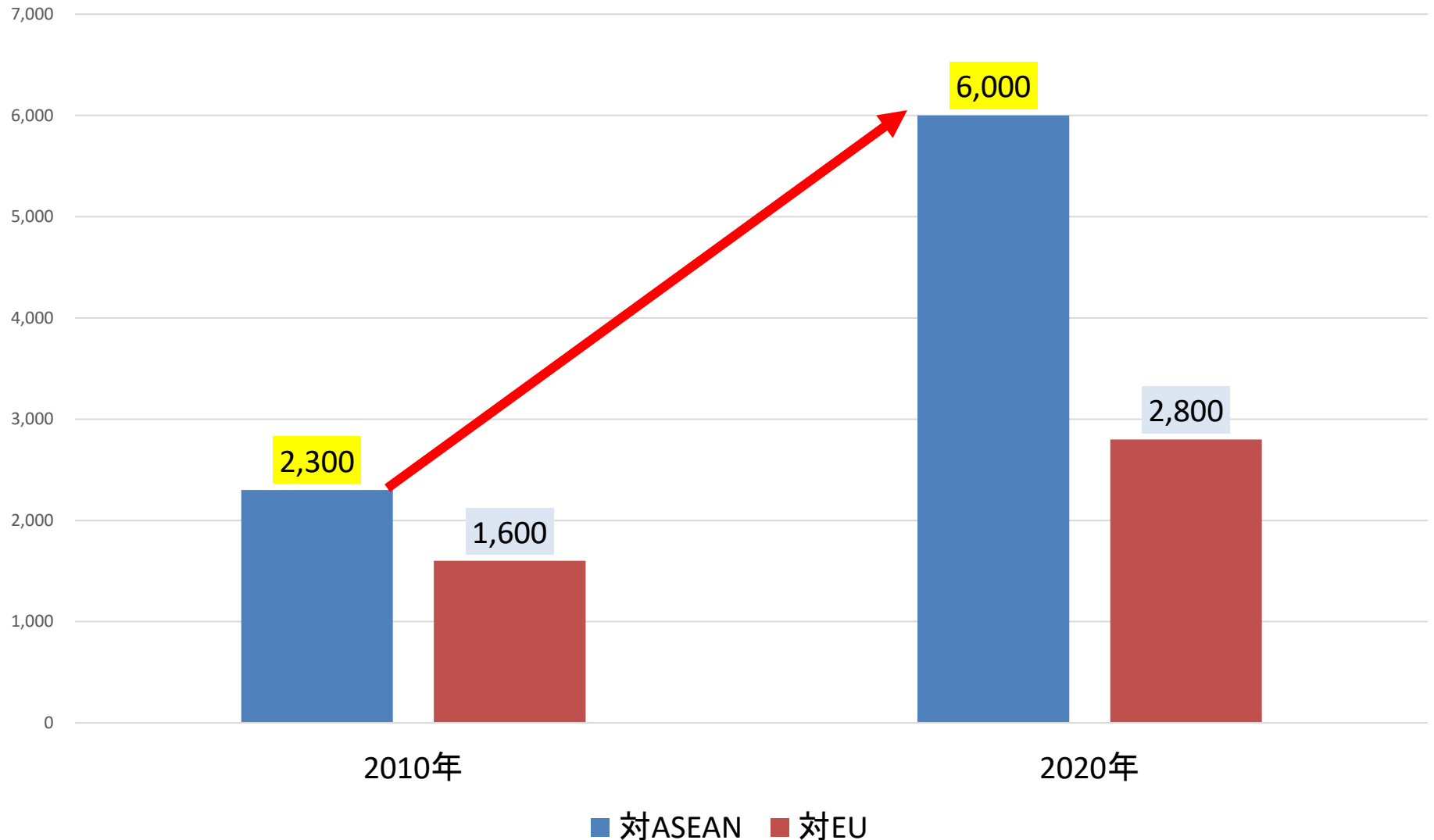
中国の対ASEAN・EUへの直接投資の残高比較

出所：『中国対外直接投資統計公報』2010～2020年版商務部など。（万ドル）



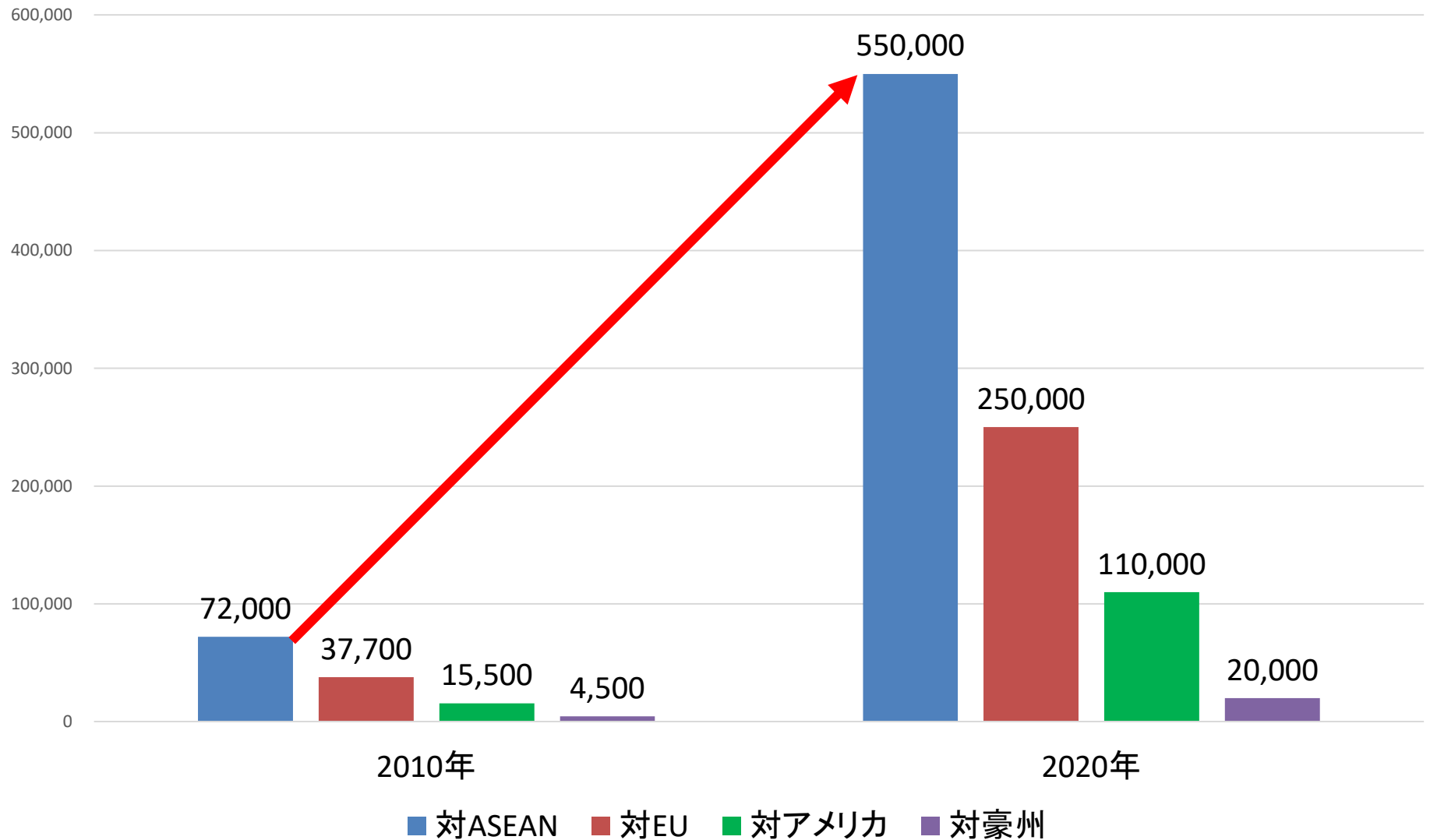
中国企業の対ASEANと対EU直接投資による 現地法人数の変化(社)

出所:『中国対外直接投資統計公報』2010~2020年版商務部など。



中国企業の対主要国・地域直接投資による現地雇用者数の変化

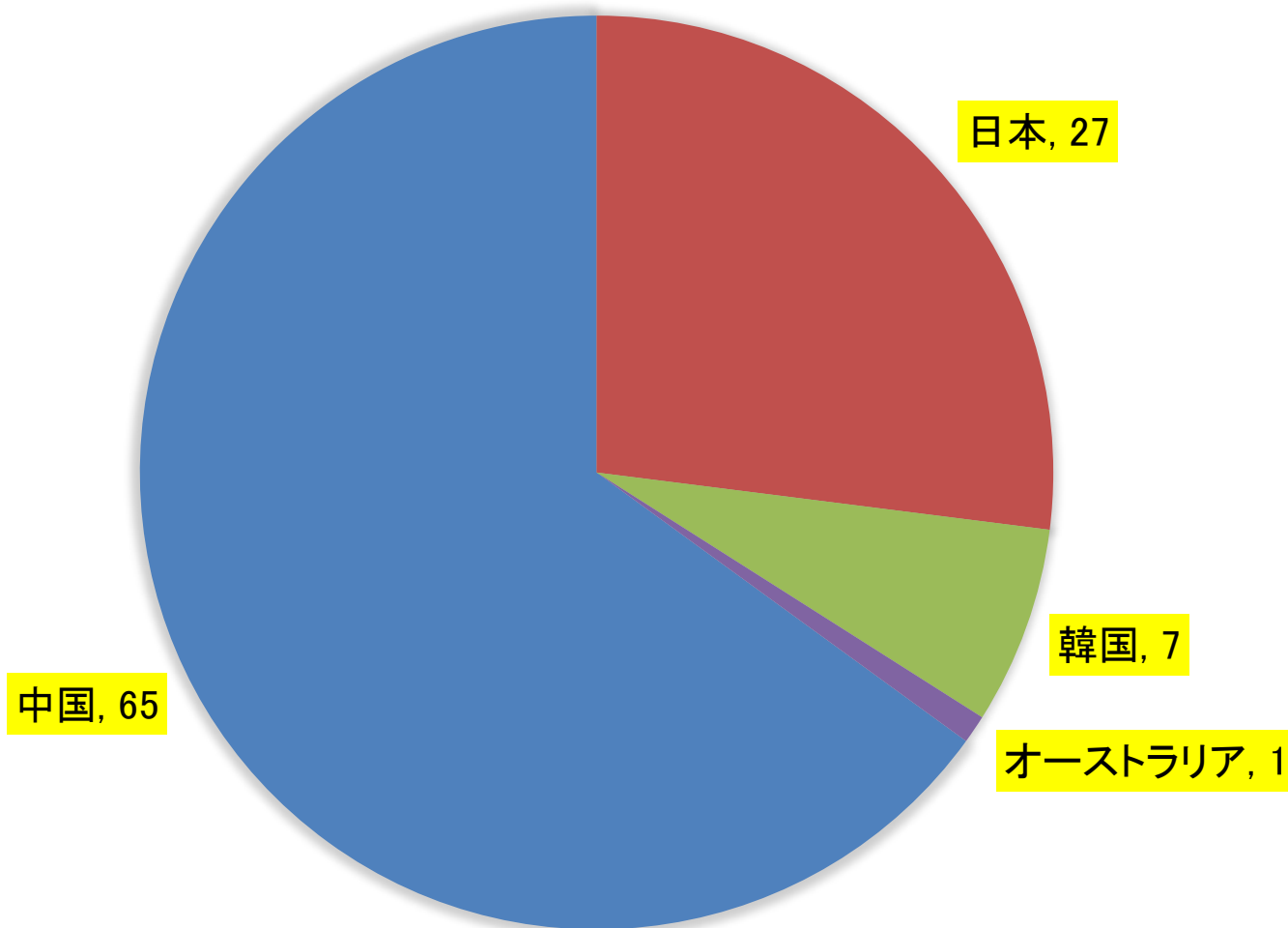
出所:『中国対外直接投資統計公報』2010~2020年版、商務部など。



2. ASEANへの直接投資： 日中の比較

ASEANに直接投資したRCEP加盟国の上位100社多国籍企業の内訳(2020年、社、ASEANを除く)

出所: UNCTAD, *ASEAN INVESTMENT REPORT 2020-2021*。



主要国のマレーシアへの直接投資(100万リンギー)

出所: 牛山(2021)。

2010年

順位	投資国	金額
第1位	アメリカ	11,739
第2位	日本	4,029
第3位	香港	2,766
第4位	シンガポール	2,157
第5位	ドイツ	1,937
第6位	台湾	1,256
第7位	オランダ	935
第8位	中国	640
第9位	スイス	574
第10位	イギリス	329

2020年

順位	投資国	金額
第1位	中国	17,752
第2位	シンガポール	8,833
第3位	オランダ	6,537
第4位	アメリカ	3,664
第5位	香港	2,932
第6位	スイス	2,762
第7位	タイ	1,859
第8位	日本	1,651
第9位	韓国	1,379
第10位	ドイツ	1,184



主要国のインドネシアへの直接投資(100万ドル)

出所: 牛山(2021)。

2010年

順位	投資国	金額
第1位	バージン諸島	5,565
第2位	シンガポール	1,616
第3位	アメリカ	931
第4位	日本	713
第5位	オランダ	608
第6位	香港	566
第7位	マレーシア	472
第8位	韓国	329
第9位	イギリス	276
第10位	豪州	214

2020年

順位	投資国	金額
第1位	シンガポール	9,779
第2位	中国	4,842
第3位	香港	3,536
第4位	日本	2,588
第5位	韓国	1,842
第6位	オランダ	1,422
第7位	マレーシア	1,045
第8位	アメリカ	750
第9位	台湾	454
第10位	豪州	349



主要国のフィリピンへの直接投資(100万ペソ)

出所: 牛山(2021)。

2010年

順位	投資国	金額
第1位	日本	58,333
第2位	オランダ	36,784
第3位	韓国	31,182
第4位	スイス	13,557
第5位	アメリカ	13,144
第6位	バージン諸島	7,654
第7位	シンガポール	7,283
第8位	中国	5,657
第9位	台湾	1,506
第10位	ドイツ	1,097

2020年

順位	投資国	金額
第1位	アメリカ	35,372
第2位	中国	15,596
第3位	イギリス	13,076
第4位	シンガポール	9,993
第5位	日本	9,376
第6位	オランダ	6,802
第7位	台湾	6,406
第8位	韓国	4,158
第9位	フランス	1,670
第10位	インド	1,019

3. 中国対ASEAN直接投資戦略の変化

(1) 投資分野の変化

2010年と2020年における中国対ASEAN直接投資の産業別変化(残高、%)

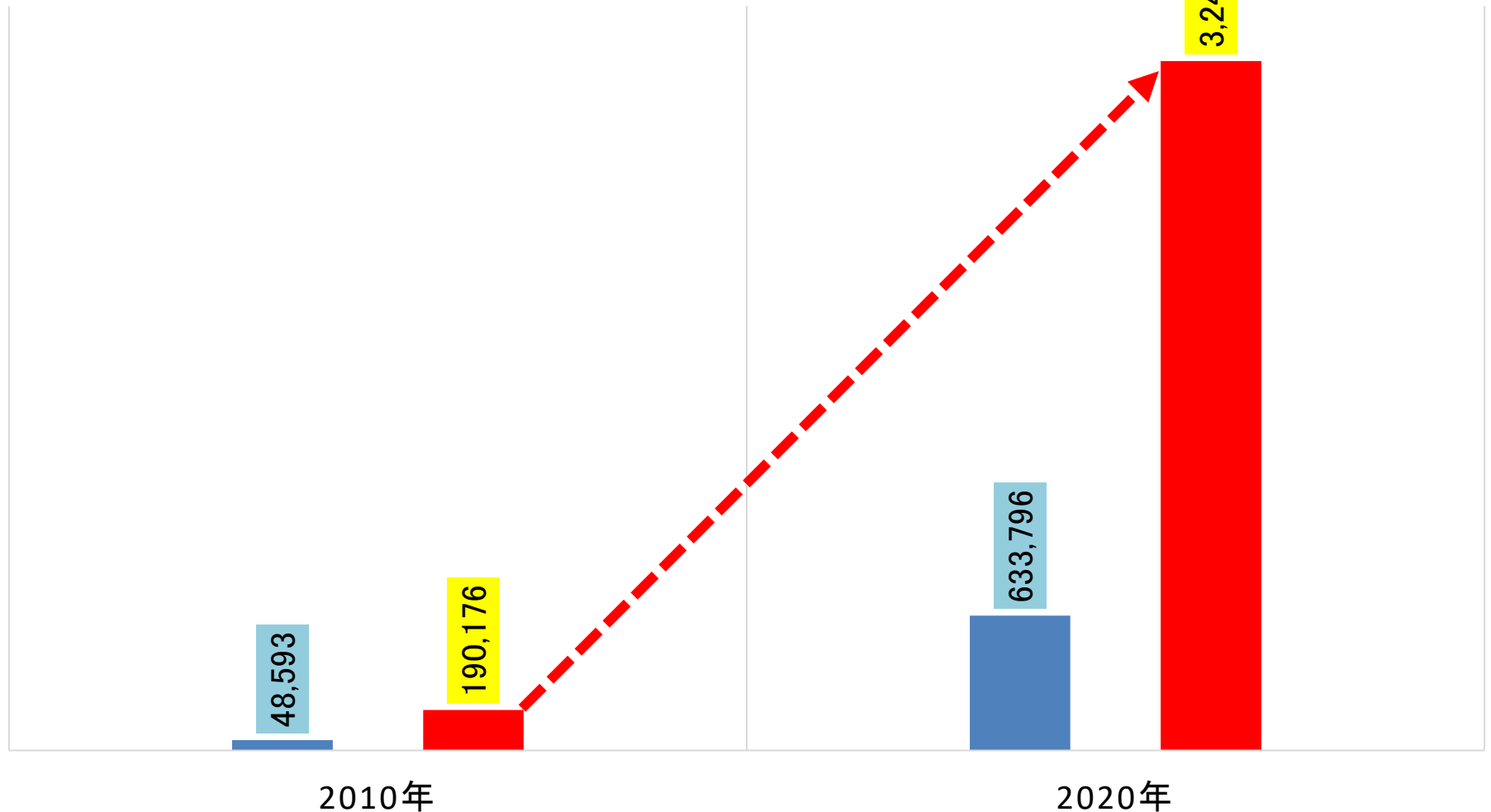
	2010年	2020年
電力・ガス・水供給	19.3%	縮小⇒ 9.4%
流通業	13.1%	14.8%
製造業	13.3%	拡大⇒ 25.4%
リース・商業サービス	8.2%	拡大⇒ 15.7%
採掘業	12.8%	縮小⇒ 6.9%
建築業	8.1%	8.3%
交通・運輸・倉庫業	5.9%	4.8%
金融業	12.3%	縮小⇒ 5.6%
農林水産業	3.7%	4.2%
その他	3.3%	4.9%

出所:『中国対外直接投資統計公報』2010~2020年版、商務部など。

中国の製造業企業の対ASEAN直接投資の変化(万ドル)

出所:『中国対外直接投資統計公報』2010~2020年版、商務部など。

■ フロー額 ■ ストック額



タイ冷蔵庫市場のシェア変化

2015年

第1位	日立	22.1%
第2位	三菱電機	16.3%
第3位	サムスン	14.1%
第4位	東芝	13.2%
第5位	海爾	10.9%
	その他	23.4%



2020年

第1位	三菱電機	17.2%
第2位	東芝(美的)	16.7%
第3位	サムスン	14.1%
第4位	日立	12.8%
第5位	海爾	12.8%
	その他	26.4%

ベトナムの洗濯機市場のシェア変化

2015年

第1位	海爾	23.8%
第2位	東芝	20.3%
第3位	パナソニック	17.3%
第4位	LG	15.3%
第5位	サムスン	11.3%
	その他	12.0%



2020年

第1位	海爾	19.9%
第2位	美的	19.1%
第3位	パナソニック	18.8%
第4位	LG	15.8%
第5位	サムスン	12.1%
	その他	14.3%

出所: 牛山(2021)。

タイのテレビ市場のシェア変化

2015年

第1位	サムスン	36.5%
第2位	LG	22.0%
第3位	ソニー	10.5%
第4位	パナソニック	9.6%
第5位	東芝	8.3%
	その他	13.1%



2020年

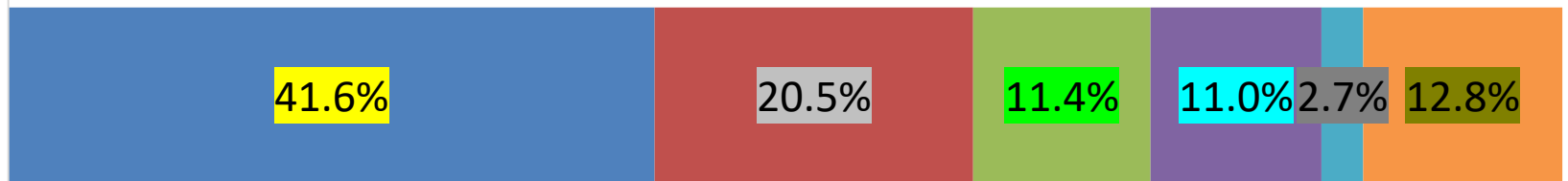
第1位	サムスン	28.7%
第2位	LG	20.2%
第3位	TCL	13.3%
第4位	パナソニック	9.0%
第5位	美的	6.7%
	その他	22.1%

マレーシア自動車市場における上位5メーカーのシェア変化

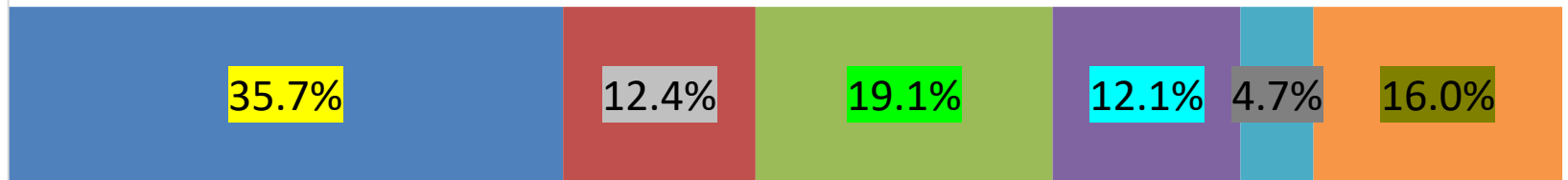
出所：NRI。

■ Perodua ■ Proton ■ ホンダ ■ トヨタ ■ 日産 ■ その他

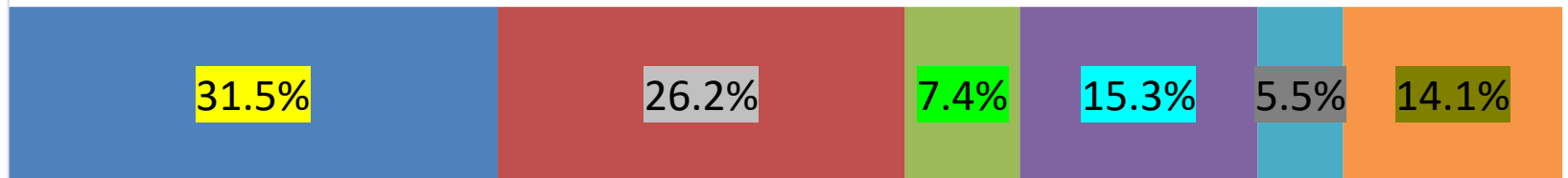
2020年



2017年



2010年

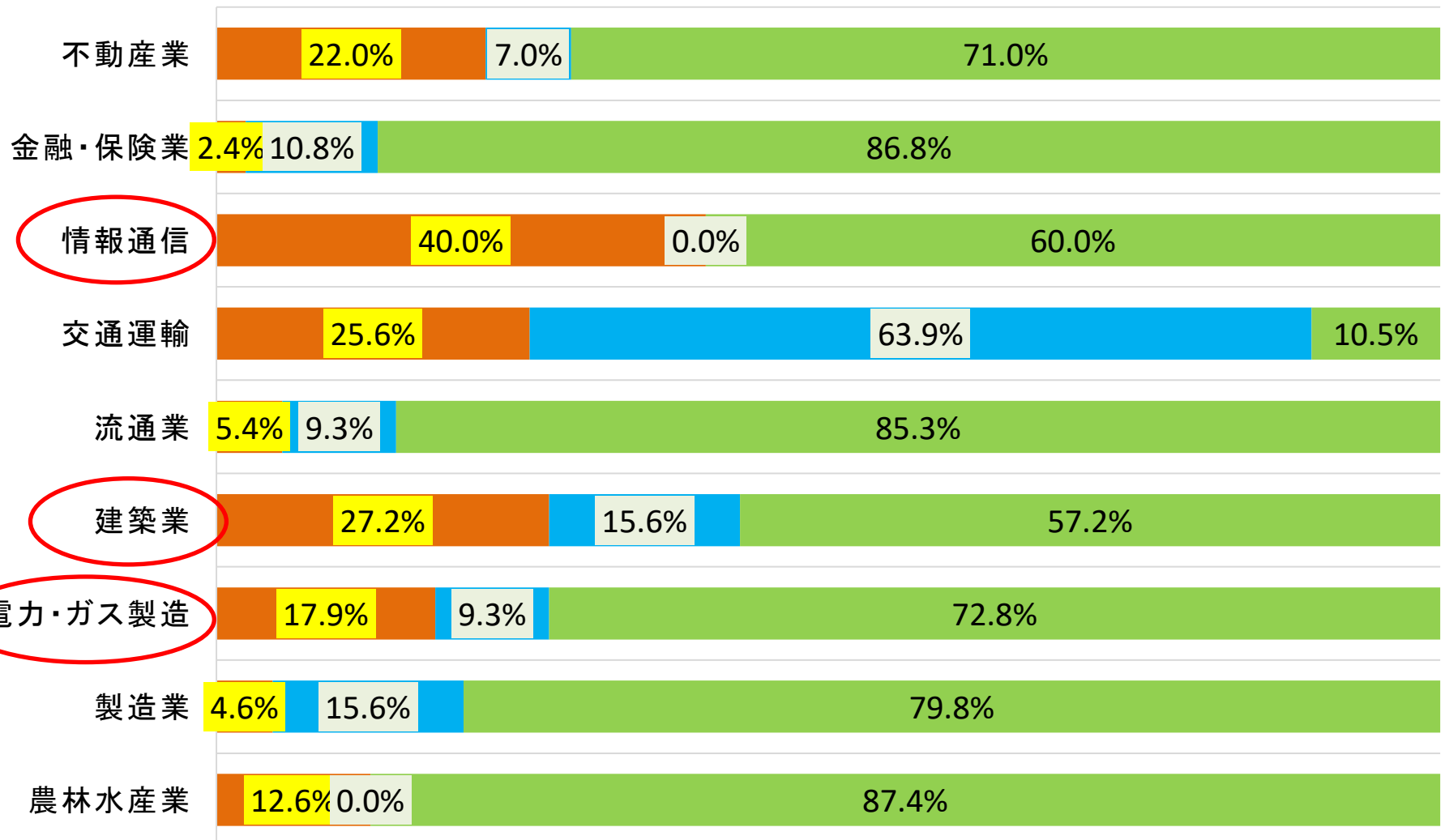


(2) 戦略型・未来型分野への 投資増加

2018～20年におけるASEAN各産業分野への投資額に占める日中シェアの比較(金額ベース)

出所: UNCTAD, ASEAN INVESTMENT REPORT 2020-2021。

■ 中国 ■ 日本 ■ その他



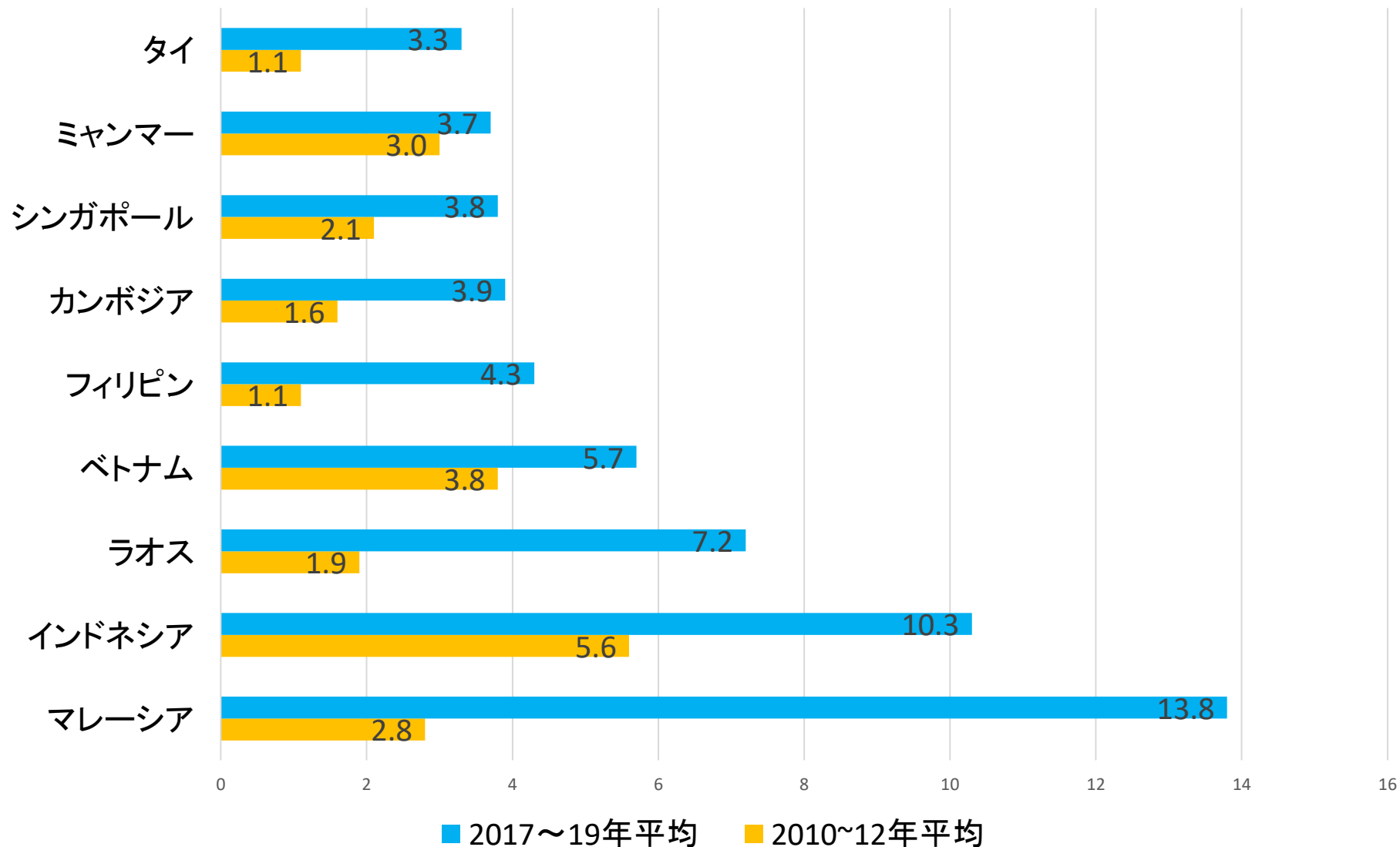
中国企業による海外インフラ投資における ASEANのウエート(10億ドル)

	2010-12年平均	2017-19年平均
全世界	144	256
アジア	69	135
東アジア	8	15
南アジア	15	27
東南アジア	23	57
西アジア	17	30
中央アジア	5	6

出所: UNCTAD, ASEAN Investment Report 2020–2021、50頁。

2010～2019年における中国企業による対ASEAN各国 へのインフラ契約案件金額の変化(10億ドル)

出所: UNCTAD, *ASEAN Investment Report 2020-2021*。



中国IT企業BATHの対ASEAN直接投資

IT企業	投資対象国	投資時期	投資額(100万ドル)
百度クラウド	シンガポール	2019～20年	30
華為技術	マレーシア	2015年	120
華為技術	タイ	2018年	22
華為技術	タイ	2019年	23
華為技術	タイ	2021年	23
騰訊クラウド	インドネシア	2021年	不明
アリババ	インドネシア	2018年	不明
アリババ	インドネシア	2019年	不明
アリババ	インドネシア	2021年	不明

出所:UNCTAD, ASEAN Investment Report 2020–2021、106～107頁。

ASEANにおける中国IT企業のデータセンター配置状況

投資企業	投資対象国	世界シェア
中国聯通	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム	4.2%
中国移動	シンガポール	2.1%
万国数据	シンガポール	1.6%
世紀互聯	検討中	1.4%

出所: UNCTAD, ASEAN Investment Report 2020–2021、115頁。

ASEANのスマートシティ建設に関わる各国 のテック企業

参加国	社数	代表企業
アメリカ	10	IBM、Dell、GEなど
フランス	4	Danfoss、EDF、Engie、Dassault Systèmes
中国	3	アリババ、テンセント、ファーウェイ
ドイツ	3	Siemens、SAP、Robert Bosch
日本	2	日立、アズビル
スイス	2	ABB、Acronis
カナダ	1	B+H Architects
ノルウェー	1	EMC
イギリス	1	Arup
オーストラリア	1	Aurecon
アイルランド	1	Accenture

ASEANに進出した中国自動車企業の状況

	上海汽車	吉利汽車	長城汽車	三菱汽車	福田汽車	威馬汽車
進出先	タイ	マレーシア	タイ	インドネシア	タイ	タイ
進出時期	2012年	2017年	2020年	2015年	2019年	2019年
進出方法	CPグループと合併	Proton社に資本参加	米GM社の現地法人買収	GMと合併	CPグループと合併	タイ国有企業PTTと合併
投資金額	100億バーツ	12億元	226億バーツ	7億米ドル	3億バーツ	未定
現地事業内容	自動車の生産・販売	自動車の生産・販売	自動車、エンジンの生産・販売	自動車の生産・販売	自動車の生産・販売	自動車の生産・販売
現地生産内容	セダン、SUV、EV	SUV、EV	セダン、SUV、EV	低価格MPV、SUV、EV	EV商用車	EV
生産能力	10万台/年間	25万台/年間	8万台/年間	12万台/年間	初年度、450台	未定
実質生産規模	約3万台（2019年）	10.9万台（2020年）	2022年から量産開始	2.5万台（2019年）	不明	不明
従業員数	約1100名	約1840名	約3400名	約3000名	不明	不明

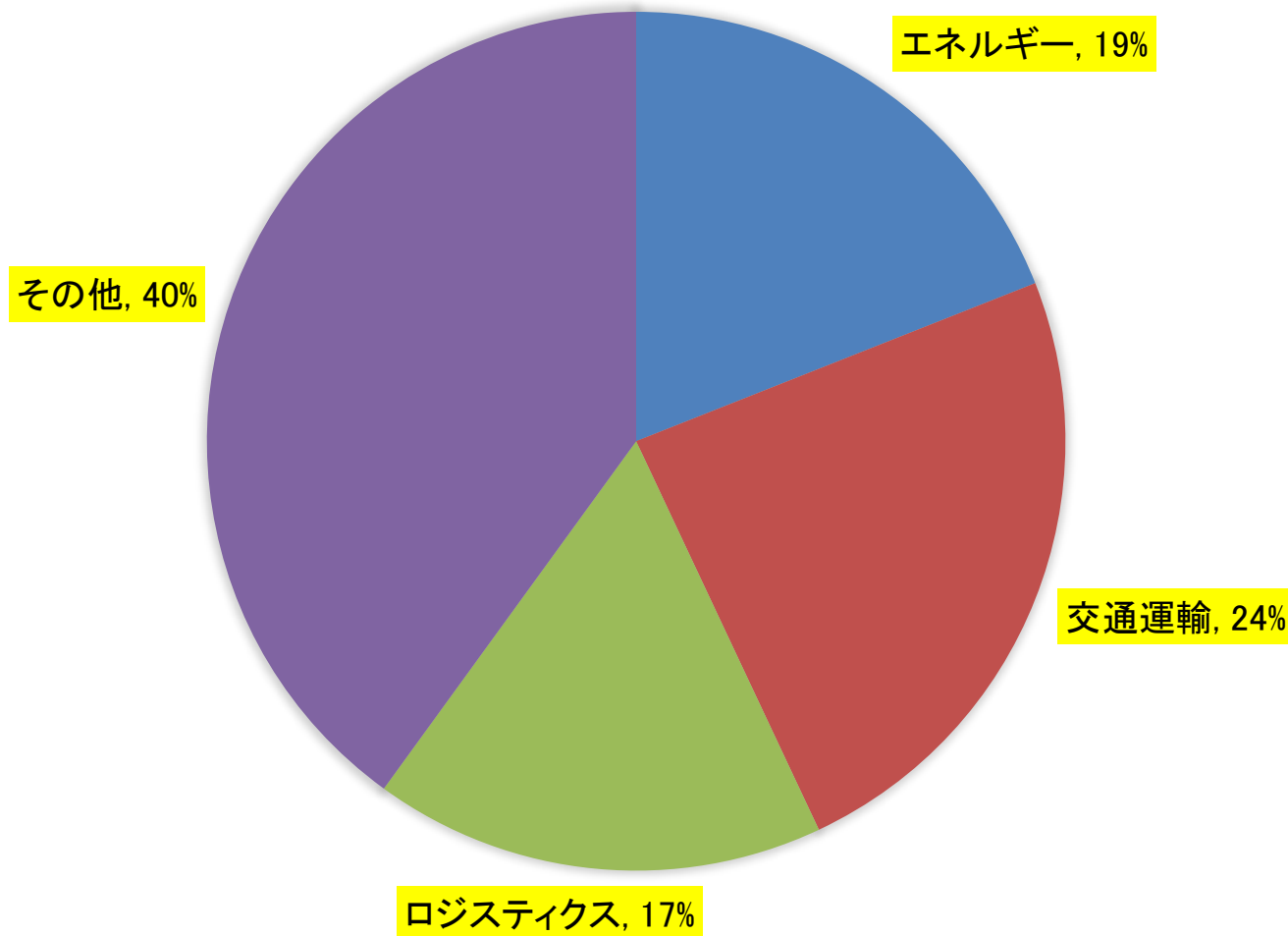
出所: 各社HPおよび報道に基づいて筆者作成。

(3)「一帯一路」関連分野への投資急増

ASEANにおける産業別の一帯一路への投資 の内訳(2016~20年)

出所: CHINA GLOBAL INVESTMENT TRACKER (CGIT)。

説明: 2016~20年の期間中のASEANへの一帯一路関連の投資総額は、641億ドル。



2019～21年における中国の「一帯一路」関連の対ASEAN直接投資状況(億ドル)

投資企業	投資の年	投資対象国	投資案件	業種	投資金額
中国港湾工程	2020年	マレーシア	East Coast Rail Link	交通運輸	107
中国電力工程	2019年	ミャンマー	Tilowa Shipyard, phase III	建設	21
中国路橋工程	2019年	カンボジア	Phnom Penh-Sihanoukville Expressway	交通運輸	20
中国葛洲壩集団	2020年	インドネシア	Data Dian, 1,200 MW hydropower station, phase I	発電	16
中国建設集団	2020年	タイ	China–Thailand Railway Cooperation Project, phase I	交通運輸	16
中国土木工程集団	2019年	インドネシア	Construction of 30,000 affordable housing units in Rongguoer	建設	16
中国葛洲壩集団	2019年	インドネシア	Kayang A hydropower plant	発電	14
中国建設集団	2020年	フィリピン	Makati subway system	交通運輸	12
中国港湾工程	2020年	シンガポール	Tuas integrated waste treatment facility, phase I	建設	11
雲南建設投資控股集団	2019年	ラオス	Vientiane–Vang Vieng Expressway	交通運輸	11
中国港湾工程	2021年	フィリピン	Subic–Clark Railway	交通運輸	9

出所:UNCTAD, ASEAN Investment Report 2020–2021、50～51頁。

2019～21年における中国の「一帯一路」関連の対ASEAN直接投資状況(億ドル)続き

投資企業	投資の年	投資対象国	投資案件	業種	投資金額
中国港湾工程	2019年	フィリピン	Pasay reclamation project, Manila Bay	建設	7
中国葛洲壩集団	2020年	ベトナム	Camou No. 1,350 MW wind power project	発電	7
中国葛洲壩集団	2020年	ベトナム	Shoc Trang No. 4,350 MW wind power projec	発電	7
中国電力建設	2019年	マレーシア	"The Sail" Complex construction, Malacca	建設	6
中国建設集団	2020年	カンボジア	Phnom Penh International Airport, new termina	建設	6
上海振華重工集団	2019年	シンガポール	Tuas Port	交通運輸	5
中国葛洲壩集団	2020年	タイ	Khon Kaen solar thermal photovoltaic hybrid power station (EPC)	発電	5
中国中鉄	2019年	ミャンマー	New Mandalay Resort City	建設	5
中国建設集団	2020年	フィリピン	International Financial Center, Manila, phase I	建設	4
中国建設集団	2020年	インドネシア	Landmark Tower engineering contract	建設	4
上海隧道工程	2019年	シンガポール	Jurong Regional Line J102	交通運輸	4
中国建設集団	2021年	シンガポール	CRL1 Subway	交通運輸	4
中国電力建設	2020年	ベトナム	Lộc Ninh, 550 MW photovoltaic project	発電	4
中国電力建設	2020年	ベトナム	Bạc Liêu, 141 MW offshore wind power project (EPC), phase III	発電	3

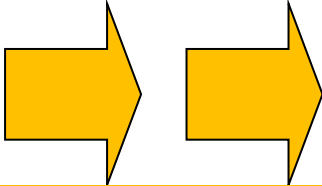
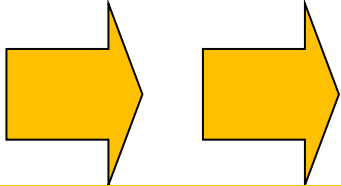
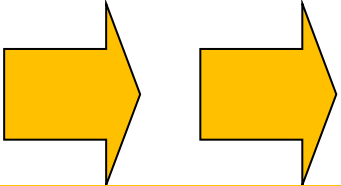
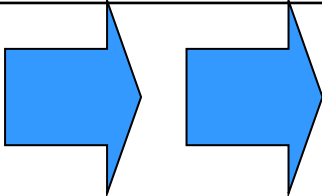
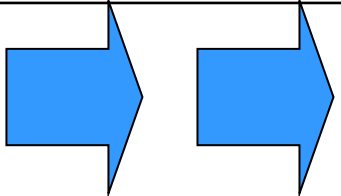
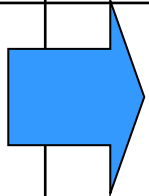
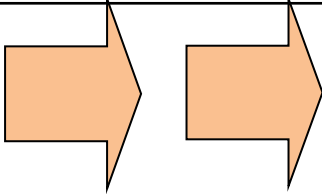
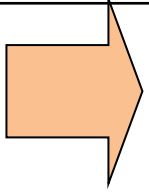
出所:UNCTAD, ASEAN Investment Report 2020–2021、50～51頁。

4. まとめ

ファクトファインディング

- (1)「外循環」の重要なチャネルにあたる中国の対外直接投資は、戦略的調整段階を迎えた。これまでの対欧米諸国への直接投資は戦略的に減らす一方、対ASEANへの直接投資を意図的に増やそうとする動きがみられる。
- (2)中国企業の対ASEAN直接投資は、足がかりの段階を経過して本格的な市場獲得の段階に移りつつある。
- (3)中国のASEAN進出によって、同市場における日本企業のこれまでの圧倒的な優位性は徐々に弱まる可能性がある。
- (4)ASEANへの中国からの直接投資は、製造業分野へ急増している。これは、中国国内の過剰生産力の海外移転を示す一方、中国の製造業企業の競争力の向上を反映している。
- (5)中国の対ASEAN直接投資は、競争優位を有する戦略型・未来型の産業分野への投資を意図的に増やしている。これらの分野への進出は、中国の「外循環」や「一帯一路」戦略目標とも合致するものである。

ASEAN市場における日・韓・中企業の位置づけ

主要国企業の 対ASEAN直接投資の段階	参入	展開	成熟
日系	 1950年～	 1980年代半ば～	 1990年代～
韓国系	 1980年代半ば～	 1990年代～	 2000年～ 
中国系	 1990年～2010年代	 2018年～ 	

中国企業のASEAN進出は現地の市場構図を変える！

日本企業と比較した場合の中国企業の技術的・市場的優劣

自動車(ガソリン車)	$\times \rightarrow \Delta$ (一部)
家電	$\times \rightarrow \Delta$
次世代通信技術	$\Delta \rightarrow \bigcirc$
インフラ	$\Delta \rightarrow \bigcirc$
建設	$\Delta \rightarrow \bigcirc$
鉄道	$\Delta \rightarrow \bigcirc$
電気自動車(EV)	$\Delta \rightarrow \bigcirc$

説明: $\bigcirc$ = 日本企業と比較して中国企業が市場で優位;

Δ = 中国企業と日本企業が市場で拮抗あるいは中国企業が近年市場で急速にシェアを伸ばしている;

$\times$ = 日本企業と比較して中国企業のシェアが低い。

【主要参考文献】

1. 牛山隆一(2021)「ASEANにおける中国企業の事業動向」日本経済研究センター『国際機関日本アセアンセンター・ASEAN最新事情ウェビナー』講演(https://www.asean.or.jp/ja/wp-content/uploads/sites/2/ASEAN-China_0914.pdf)
2. 苑志佳(2010)「ASEAN: 中国現地企業の市場競争パターンの現状と行方」日中経済協会『日中経協ジャーナル』No.19
3. 苑志佳(2021)「中国型多国籍企業に関する試論」立正大学『経済学季報』第70巻第4号